



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 川隅 義之 TEL 054-288-5200
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 52,589 | 0.3 | 2,580 | △22.0 | 2,852 | △23.7 | 2,244 | △19.0 |
| 2021年3月期第3四半期 | 52,426 | — | 3,308 | — | 3,740 | — | 2,771 | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,383百万円 (△25.5%) 2021年3月期第3四半期 3,199百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 238.48 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | 294.47 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。これにより、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 59,817 | 34,348 | 57.4 | 3,649.93 |
| 2021年3月期 | 56,947 | 32,435 | 57.0 | 3,446.66 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 34,348百万円 2021年3月期 32,435百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 |
| 2022年3月期 | — | 25.00 | — | | |
| 2022年3月期 (予想) | | | | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期第2四半期末配当金の内訳：普通配当18円00銭 記念配当7円00銭

2021年3月期期末配当金の内訳：普通配当18円00銭 記念配当7円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 68,000 | 1.0 | 2,200 | △35.5 | 2,700 | △30.9 | 2,100 | △29.4 | 223.15 |

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、対前期増減率は会計方針の変更に伴い遡及修正を行ったため、遡及修正後の前期数値と比較して記載しています。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）および（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期3Q | 10,325,365株 | 2021年3月期 | 10,325,365株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | 914,706株 | 2021年3月期 | 914,620株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期3Q | 9,410,696株 | 2021年3月期3Q | 9,410,745株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (会計上の見積りの変更) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |
| 3. 2022年3月期第3四半期決算短信(連結) 補足説明 | 10 |
| (1) 売上高・利益の増減要因等 | 10 |
| (2) 販売費及び一般管理費の内訳 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、ワクチン接種等の各種対策が進んだこともあり、持ち直しの動きが見られました。しかし、新たな変異株が確認される等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

食品業界では、コロナ禍における消費動向の変化に加え、原材料価格の高騰や物流費の上昇等、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような中、当社グループは、中期経営計画の優先課題である信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立に取り組み、消費者ニーズに合わせた健康面や簡便性、利便性といった機能性を追求した新製品を発売しました。また、販売促進活動の一つである「シーチキン食堂」の刷新やメニュー提案により、さらなる需要喚起に努めました。

この結果、家庭用製品の販売は、コロナ禍での内食需要の拡大が一般したことにより減少しましたが、業務用製品の販売は、各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が順調に回復したこと等により増加したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は525億89百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

利益面では、原材料価格の高騰等により売上原価率が上昇し、さらに販売奨励金や物流費が増加したこと等から、営業利益は25億80百万円（同22.0%減）、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常利益は28億52百万円（同23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億44百万円（同19.0%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。また、当該会計基準等の適用については、「収益認識に関する会計基準」第84項に定める原則的な取扱いに従って、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間および前連結会計年度との比較・分析を行っています。

また、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

| 製品群 | | 前年同期 | | 当第3四半期 | | 増減 | | |
|-----|-------------|---------------|------------|------------|------------|---------|----------|------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 率 | |
| 製品 | 家庭用食品 | ツナ | 24,283,543 | 46.3 | 23,985,660 | 45.6 | △297,882 | △1.2 |
| | | デザート | 4,207,734 | 8.0 | 4,343,257 | 8.3 | 135,522 | 3.2 |
| | | パスタ&ソース | 4,440,847 | 8.5 | 4,311,788 | 8.2 | △129,058 | △2.9 |
| | | 総菜 | 5,150,138 | 9.8 | 5,140,198 | 9.8 | △9,940 | △0.2 |
| | | 削りぶし・のり・ふりかけ類 | 2,806,802 | 5.4 | 2,546,777 | 4.8 | △260,025 | △9.3 |
| | | ギフト・その他食品 | 2,238,827 | 4.3 | 2,174,403 | 4.1 | △64,423 | △2.9 |
| | | 計 | 43,127,894 | 82.3 | 42,502,085 | 80.8 | △625,808 | △1.5 |
| | 業務用食品 | 7,767,353 | 14.8 | 8,490,628 | 16.1 | 723,275 | 9.3 | |
| | ペットフード・バイオ他 | 1,189,693 | 2.2 | 1,302,421 | 2.5 | 112,728 | 9.5 | |
| | 計 | 52,084,940 | 99.3 | 52,295,136 | 99.4 | 210,195 | 0.4 | |
| その他 | 342,057 | 0.7 | 294,770 | 0.6 | △47,287 | △13.8 | | |
| 合計 | 52,426,998 | 100.0 | 52,589,906 | 100.0 | 162,908 | 0.3 | | |

「ツナ」では、高たんぱく・低脂質・低糖質という健康面を訴求した「オイル不使用シーチキン」シリーズ等が好調でしたが、油漬缶詰は前年同期のコロナ禍での需要拡大が一般したことから、売上高は前年同期比1.2%減少しました。

「デザート」では、利便性が支持された甘みあっさり（パウチ）シリーズが好調で、売上高は同3.2%増加しました。

「パスタ&ソース」では、デュラム小麦粉の高騰等による価格改定を実施したことにより結束タイプのスパゲティやマカロニが低調で、売上高は同2.9%減少しました。

「総菜」では、紙容器やレンジ対応パウチ等のラインナップを拡充した「シャキッとコーン」シリーズは好調でしたが、さば・さんま・いわし等の青魚製品が低調で売上高は同0.2%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、きざみのりの販売は増加しましたが、花かつおや味付のりの競争が激化したことにより、売上高は同9.3%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、電子レンジで簡単に調理可能な包装米飯「パパッとライス」は好調でしたが、贈答品市場の回復が進まずギフトが低調で売上高は同2.9%減少しました。

「業務用食品」では、各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が順調に回復したこと等により、売上高は同9.3%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、添加物不使用のペットフード「無一物」シリーズに新製品を投入したことや猫用ふりかけの「ねこふり」シリーズが寄与し、売上高は同9.5%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の内容

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より28億70百万円増加して、598億17百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が7億19百万円、現金及び預金が5億34百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が31億61百万円、建物及び構築物（純額）が6億16百万円ならびに商品及び製品が4億9百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より9億57百万円増加して、254億69百万円となりました。これは主に、未払金が17億40百万円減少したものの、販売促進引当金が16億38百万円、流動負債のその他が7億64百万円ならびに売上割戻引当金が3億25百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より19億12百万円増加して、343億48百万円となりました。これは主に、利益剰余金が17億73百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.0%から57.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想については、原材料価格の高騰や物流費の上昇が継続していることから、第4四半期以降は採算面において一段と厳しい状況になると想定しています。そのため、2021年11月12日の発表から変更しません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,558,478 | 2,023,700 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 16,792,395 | 19,954,180 |
| 商品及び製品 | 8,172,175 | 8,581,893 |
| 仕掛品 | 55,301 | 41,384 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,841,978 | 2,692,017 |
| その他 | 2,384,782 | 1,665,086 |
| 貸倒引当金 | △16,669 | △15,209 |
| 流動資産合計 | 32,788,441 | 34,943,051 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,896,931 | 7,513,004 |
| 土地 | 3,487,847 | 3,487,847 |
| その他(純額) | 4,649,426 | 4,522,680 |
| 有形固定資産合計 | 15,034,205 | 15,523,532 |
| 無形固定資産 | | |
| | 457,211 | 411,663 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,751,086 | 7,999,237 |
| 退職給付に係る資産 | 450,264 | 431,791 |
| その他 | 469,453 | 511,569 |
| 貸倒引当金 | △3,195 | △3,250 |
| 投資その他の資産合計 | 8,667,609 | 8,939,347 |
| 固定資産合計 | 24,159,026 | 24,874,543 |
| 資産合計 | 56,947,467 | 59,817,594 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,898,439 | 12,202,522 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 482,688 | 482,688 |
| 未払金 | 4,892,128 | 3,152,115 |
| 未払法人税等 | 438,181 | 616,399 |
| 売上割戻引当金 | 31,408 | 357,285 |
| 販売促進引当金 | 2,816 | 1,641,408 |
| 賞与引当金 | 391,143 | 197,960 |
| その他 | 464,547 | 1,228,588 |
| 流動負債合計 | 18,601,353 | 19,878,968 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,681,541 | 3,366,025 |
| 役員退職慰労引当金 | 784,224 | 798,563 |
| 退職給付に係る負債 | 12,359 | 12,161 |
| その他 | 1,432,377 | 1,413,658 |
| 固定負債合計 | 5,910,502 | 5,590,408 |
| 負債合計 | 24,511,855 | 25,469,376 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,441,669 | 1,441,669 |
| 資本剰余金 | 942,527 | 942,527 |
| 利益剰余金 | 29,090,471 | 30,864,218 |
| 自己株式 | △2,162,718 | △2,162,990 |
| 株主資本合計 | 29,311,949 | 31,085,425 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,197,868 | 3,266,535 |
| 繰延ヘッジ損益 | 97,708 | 28,816 |
| 為替換算調整勘定 | △211,922 | △86,751 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 40,007 | 54,191 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,123,662 | 3,262,793 |
| 純資産合計 | 32,435,612 | 34,348,218 |
| 負債純資産合計 | 56,947,467 | 59,817,594 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 52,426,998 | 52,589,906 |
| 売上原価 | 39,397,486 | 40,153,614 |
| 売上総利益 | 13,029,512 | 12,436,292 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,720,687 | 9,855,416 |
| 営業利益 | 3,308,824 | 2,580,876 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 13 |
| 受取配当金 | 170,845 | 188,697 |
| 持分法による投資利益 | 198,642 | 16,481 |
| 仕入割引 | 28,839 | 30,632 |
| 賃貸料収入 | 52,957 | 51,888 |
| その他 | 29,615 | 30,133 |
| 営業外収益合計 | 480,909 | 317,846 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,647 | 10,460 |
| 賃貸収入原価 | 30,520 | 26,841 |
| その他 | 14,203 | 8,880 |
| 営業外費用合計 | 49,371 | 46,182 |
| 経常利益 | 3,740,363 | 2,852,540 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,654 | 6,241 |
| 補助金収入 | — | 349,041 |
| 受取補償金 | — | 67,164 |
| 特別利益合計 | 4,654 | 422,447 |
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 54 |
| 固定資産除却損 | 13,235 | 6,913 |
| 固定資産売却損 | 991 | — |
| 投資有価証券評価損 | — | 1,867 |
| 災害による損失 | 3,519 | — |
| 特別損失合計 | 17,746 | 8,835 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,727,271 | 3,266,151 |
| 法人税等 | 956,079 | 1,021,869 |
| 四半期純利益 | 2,771,191 | 2,244,282 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,771,191 | 2,244,282 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 2,771,191 | 2,244,282 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 563,194 | 68,667 |
| 繰延ヘッジ損益 | △112,957 | △68,891 |
| 退職給付に係る調整額 | 25,631 | 3,837 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △47,764 | 135,518 |
| その他の包括利益合計 | 428,103 | 139,130 |
| 四半期包括利益 | 3,199,295 | 2,383,413 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,199,295 | 2,383,413 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上していた販売奨励金等の一部を、売上高から控除しています。また、有償支給取引において、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識していましたが、当該取引において買い戻し義務を負うことから、有償支給した原材料等について消滅を認識しないこととしました。なお、当該取引において支給品譲渡に係る収益は認識していません。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しています。

- (1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取り扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと
- (2) 当連結会計年度の期首より前までに従前の取り扱いに従ってほとんどすべての収益を認識した契約に含まれる変動対価の額について、変動対価の額に関する不確実性が解消された時の金額を用いて比較情報を遡及的に修正すること
- (3) 前連結会計年度内に開始して終了した契約について、前連結会計年度の四半期連結財務諸表を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の原材料及び貯蔵品が82,577千円増加し、流動負債のその他が82,577千円増加しました。また、前第3四半期連結累計期間の売上高は12,199,665千円減少し、販売費及び一般管理費は12,199,665千円減少しましたが、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に変更はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社のバイオ製品の自社生産体制の見直しを決定しました。これにともないバイオプラントの一部固定資産について、耐用年数の見直しを行い、将来にわたって変更しています。

この結果、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上原価(減価償却費)が23,034千円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が23,034千円減少しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. 2022年3月期第3四半期決算短信(連結)補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位:百万円、%)

| | 前年同期 | | 当第3四半期 | | 前年同期比 | | 前年同期比増減要因等 |
|--------------------------|-----------------|---|-----------------|---|--------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 金額 | 率 | 金額 | 率 | 金額 | 率 | |
| 売上高 | 100.0 52,426 | | 100.0 52,589 | | 162 | 100.3 | 販売函数 + 120千函 + 0.8% 製品群別売上高 ・ツナ △ 297百万円 △ 1.2% ・デザート + 135 + 3.2 ・パスタ&ソース △ 129 △ 2.9 ・削りぶし・ のり・ふりかけ類 △ 260 △ 9.3 ・業務用食品 + 723 + 9.3 |
| 売上原価 | 75.1 39,397 | | 76.4 40,153 | | 756 | 101.9 | ・売上原価率 + 1.3ポイント |
| 売上総利益 | 24.9 13,029 | | 23.6 12,436 | | △593 | 95.4 | |
| 販売費及び一般管理費 | 18.6 9,720 | | 18.7 9,855 | | 134 | 101.4 | ・販売奨励金 + 179百万円 +11.4% ・広告宣伝費 △ 226 △16.6 ・荷造運賃・保管料 + 114 + 4.5 |
| 営業利益 | 6.3 3,308 | | 4.9 2,580 | | △727 | 78.0 | |
| 営業外損益 | 0.8 431 | | 0.5 271 | | △159 | 63.0 | ・持分法による投資利益 △ 182百万円 |
| 経常利益 | 7.1 3,740 | | 5.4 2,852 | | △887 | 76.3 | |
| 特別損益 | △0.0 △13 | | 0.8 413 | | 426 | - | ・補助金収入 + 349百万円 |
| 税金等調整前 四半期純利益 | 7.1 3,727 | | 6.2 3,266 | | △461 | 87.6 | |
| 法人税等 | 1.8 956 | | 1.9 1,021 | | 65 | 106.9 | |
| 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 5.3 2,771 | | 4.3 2,244 | | △526 | 81.0 | |
| 設備投資額 | 4,404 | | 1,731 | | △2,673 | 39.3 | 無形固定資産含む |
| 減価償却費 | 854 | | 1,270 | | 416 | 148.8 | 無形固定資産分含む |

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円、%)

| | 前年同期 | 当第3四半期 | 増減額 | 前年同期比 |
|-----------------|-------|--------|------|-------|
| 販売奨励金(引当金繰入額含む) | 1,565 | 1,744 | 179 | 111.4 |
| 広告宣伝費 | 1,362 | 1,136 | △226 | 83.4 |
| 荷造運賃・保管料 | 2,578 | 2,693 | 114 | 104.5 |
| 給料・賞与(引当金繰入額含む) | 1,553 | 1,534 | △18 | 98.8 |
| 退職給付費用 | 129 | 109 | △20 | 84.3 |
| 研究開発費 | 140 | 191 | 50 | 136.0 |
| その他 | 2,390 | 2,446 | 55 | 102.3 |
| 合計 | 9,720 | 9,855 | 134 | 101.4 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。